

■防火水槽整備事業

【消防費】(継続) 4,020 万円
(総務部 総務課)

防火水槽は、火災現場における最も効果的で確実な消防水利です。本年度は、峰山町小西、網野町桃山、弥栄町吉沢、丹後町乗原の4か所に設置を予定しています。また、弥栄町黒部地内では、国道482号の道路整備事業に伴う補償工事として、1基更新します。40^{リットル}の水量が貯蓄され、地震にも強い耐震性の防火水槽を設置する予定です。



峰山町新治地区に設置された防火水槽

■防災行政無線施設整備事業

【消防費】(継続) 5億 5,337 万円
(総務部 総務課)

戸別受信機を、地区集会所や消防車庫も含めた公共施設に設置します。また、旧網野町で設置したアナログの戸別受信機の更新や消防サイレンとの連動などを行います。この防災行政無線の整備により、市役所から災害情報や行政放送を屋外やご家庭で聞いていただけるなど、きめ細かな情報提供をすることができます。なお、防災行政無線施設の整備については、本年度が最終年度となります。(平成18年度～平成20年度)



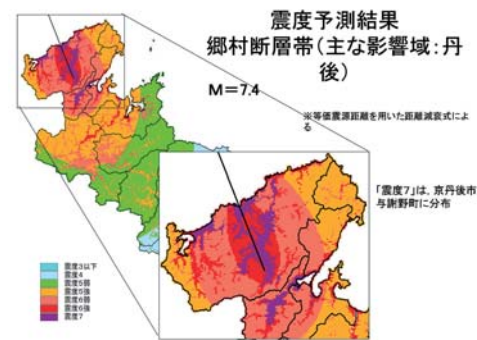
戸別受信機

■地震ハザードマップ作成経費

【消防費】(新規) 698 万円
(総務部 総務課)

京都府が実施した「京都府地震被害想定調査」の公表データに基づき、市内に特に影響が大きいと考えられる「山田断層」および「郷村断層」の二つの活断層の想定最大震度の分布状況などを掲載した「京丹後市地震ハザードマップ」を作成し、各戸配布します。

地震は、いつ発生するかわかりません。また、大地震となると一瞬にして建物や道路なども倒壊、寸断される危険性があります。万一のときのために、非常持ち出し品や避難経路を確認しましょう。



京都府地震被害想定調査

■洪水ハザードマップ(防災マップ)修正経費

【消防費】(継続) 542 万円
(総務部 総務課)

竹野川・福田川・佐濃谷川など、市内主要河川の堤防が決壊した場合に想定される浸水状況と、市内の土砂災害危険箇所や避難場所などを掲載した「京丹後市防災マップ」を平成18年度に作成し、すべてのご家庭に配布したところですが、京都府による宇川・溝谷川・小西川・鱒留川の追加調査が終了したことに伴い、既存のデータを修正し、あらためて作成したハザードマップを該地域の各世帯に配布します。



配布済みの防災マップ

8 地域情報化の推進

都市部や市内地域間での

情報格差を解消します

■ブロードバンドネットワーク整備経費

【総務費】(拡充) 13億 54 万円
(企画政策部 情報政策課)

全国的に急速に普及が進んでいる超高速インターネットサービスや、地上デジタルテレビ放送の受信などの情報通信分野において、都市部との格差や市内地域間での格差が生じています。これらの格差を解消するため、市が情報通信基盤となる光ファイバ網などを整備して民間事業者へ貸し出す方式で、ご家庭や事業所でのサービス利用を可能にします。

昨年度に光ファイバ敷設工事に着手した久美浜町の一部地域に続き、本年度はそれ以外の市内全域の幹線網工事を、平成21年度から平成22年度には各家庭等への引込工事を行います。超高速の光インターネット、現在と同じ電話番号が使える光IP電話、地上波放送・衛星放送や地域密着自主番組が流れるケーブルテレビなどのサービスを、平成21年末頃から順次開始する予定としています。

- 光ファイバ網架設(延長約350km)
- 屋外簡易局舎設置(2か所)

ブロードバンド

文字だけでなく音声や動画などの大容量のデータを流せる「広帯域」な情報通信回線網のことです。

地上デジタル放送

従来のアナログ方式と比べて、より高品質な(ゴーストや雑音のない)映像と音声を受信することができる新たな放送です。本市域でも平成19年11月から始まっていますが、視聴するためにはデジタル放送対応テレビ、または外付けデジタルチューナーが必要です。



光ファイバ敷設工事

情報交流サイトで

京丹後市内外の人と人をつなぎます

■地域情報交流モデル構築経費

【総務費】(継続) 2,932 万円
(企画政策部 情報政策課)

地域経済の活性化、少子高齢化や過疎化による人口減少といった地域の抱える課題に対し、情報通信技術の利活用を通じて解決を促進していくモデルの構築を、総務省から委託を受けて昨年度から実施しています。京丹後市内外の個人や事業者のかたが、インターネット上で広範にまた密に情報交流を行い、人と人、仕事と仕事、地域と地域のつながりを強め、異業種間のマッチングや商品・事業のPRを活発化し、ビジネスチャンスの拡大や雇用の創出へと結びついていくよう、京丹後市を基点とする地域情報交流サイト「T-WAVE(ティー・ウェーブ)」を開設しました。

昨年度に構築した地域SNSとしての基本機能を土台にし、本年度は、主にビジネス向け機能の拡充と定住促進の支援として住居情報提供機能の開発を行います。

地域SNS

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、インターネット上のサイト内で、知り合い同士のコミュニケーションの場を提供したり、趣味や出身地などが同じかたのつながりを通じて、新たな人間関係を構築する場を提供する会員制の情報サービスです。地域SNSは、特定の地域に住む・働く・関心のあるかたを利用対象とし、行政情報や地域情報を入手することもできます。



開設したT-WAVE

「T-WAVE」ホームページアドレス
<http://www.tango-wave.jp/>